

# 財政事情説明書

## 大村市告示46号

大村市の財政事情を6月と12月の年2回公表していますが、今回は昭和63年度当初予算概要と昭和62年度の執行状況を次のとおり公表します。

昭和63年6月1日

大村市長 松本 崇

昭和63年度の当初予算については、私  
が市長就任後初めての予算であり市政の  
新たなかじ取り役としての出発でありま  
す。

しかしながら、地方財政は昭和61年度  
以来国庫補助負担率の引き下げに伴う地  
方負担の増高により、収支不均衡の状態  
が続き建設地方債の増発を重ねるなど  
によって、かろうじて収支の均衡を保つな  
ど厳しい財政環境におかれています。

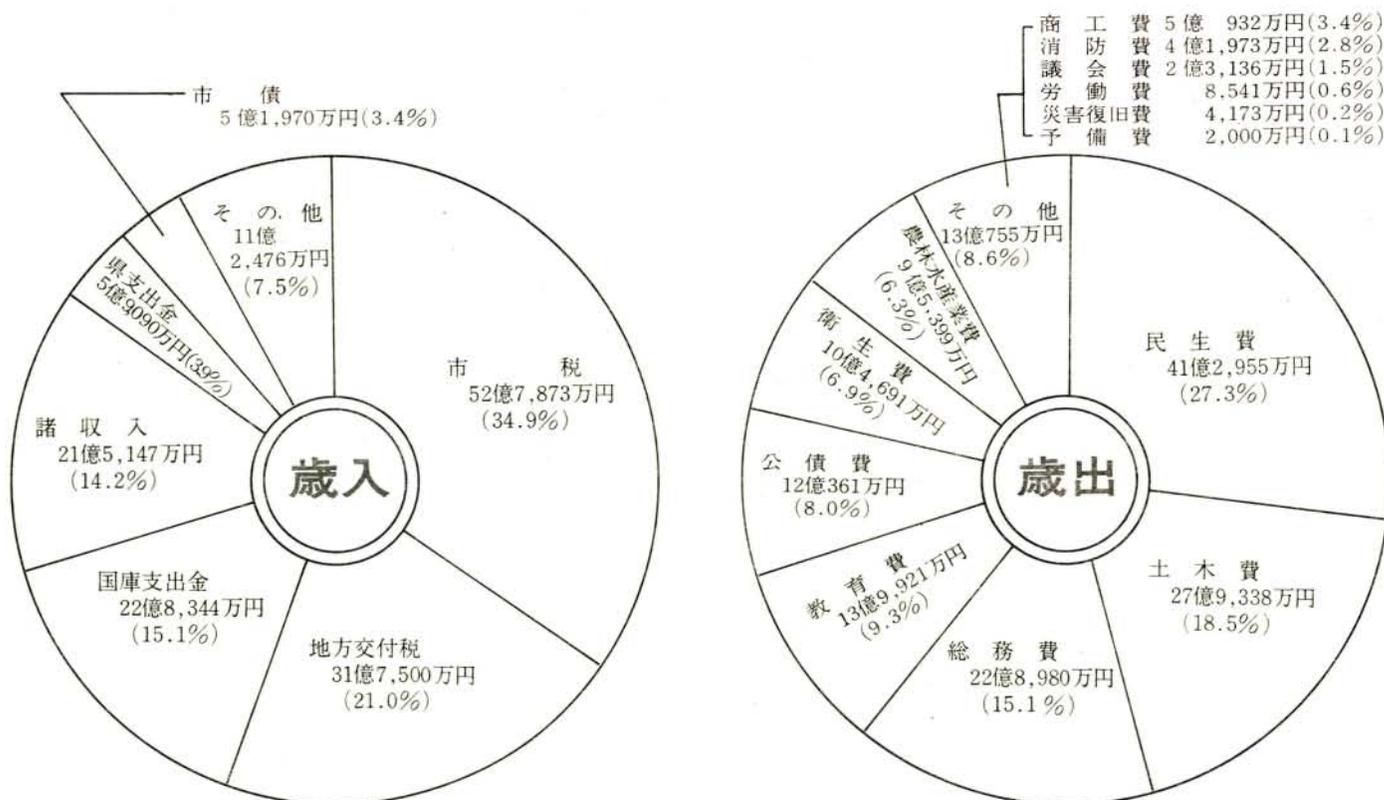
本市におきましても財政運営の大宗で  
ありますところの税収の増加には大きく  
期待ができず、財源確保にはなお厳しい  
情勢が続くものと予想されますが、歳出  
経費の節減合理化に一層努めてまいりた  
いと思います。

このような本市財政状況に対処しつつ、  
魅力ある地域社会の形成を促進し、県央  
中核交通産業拠点づくりとしての、長期  
的展望にたった住民福祉の向上を図るた  
め積極的なまちづくりを推進するととも  
に、行政が真に責任をもつべき分野を的  
確に見極め、財源の効率的配分を行い、  
財政の健全化を堅持してまいりたいと思  
います。

特に本年度は、重点目標として、「生活  
環境の整備」「教育環境の整備」「産業の振  
興」「行政健全化の促進」「国・県事業の  
推進」の五項目を掲げて予算の編成に努  
めました。

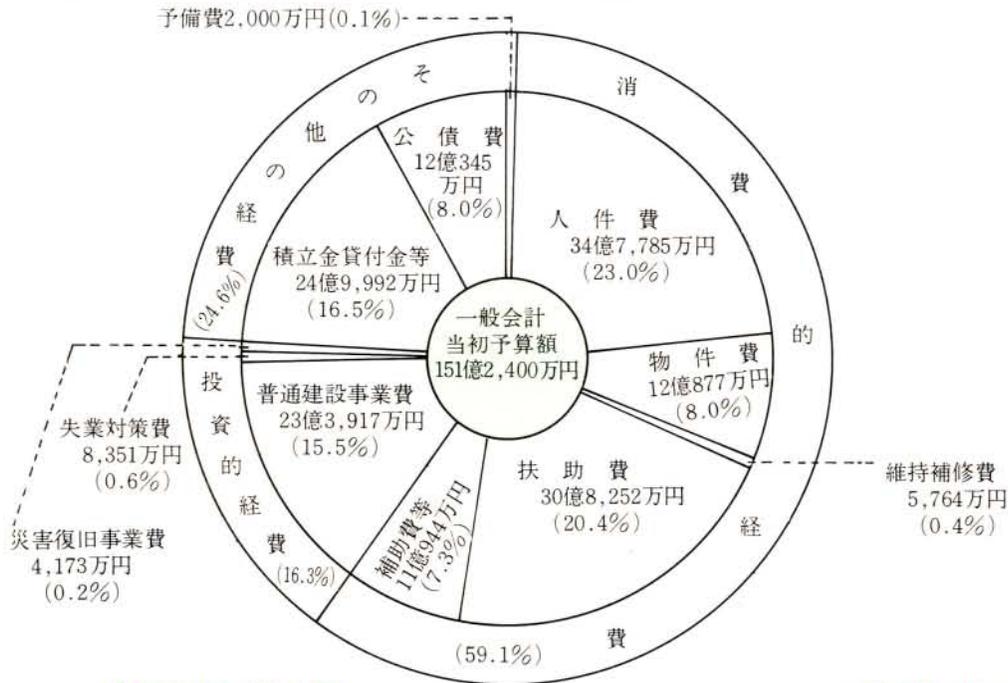
今後は本市が当面する課題に取りくむ  
とともに総市民参加の市政運営を積極的  
に推進してまいりたいと存じます。

# 昭和63年度一般会計当初予算 151億2,400万円



昭和63年度一般会計・特別会計及び企業会計当初予算比較

会 計 名	昭和63年度予算	昭和62年度予算	増 減
一 般 会 計	151億2,400万円	137億5,200万円	13億7,200万円
簡 易 水 道 事 業 会 計	4億3,956万円	4億4,505万円	△ 549万円
国民健康保険事業会計	42億6,738万円	38億7,094万円	3億9,644万円
老人保健事業会計	35億2,100万円	31億6,779万円	3億5,321万円
公共下水道事業会計	28億7,151万円	26億8,858万円	1億8,293万円
公共用地等先行取得事業会計	2,945万円	0万円	2,945万円
水 道 事 業 会 計	10億6,915万円	10億4,723万円	2,192万円
病 院 事 業 会 計	34億2,344万円	32億6,820万円	1億5,524万円
モーターボート競走事業会計	272億4,652万円	252億8,807万円	19億5,845万円
工業用水道事業会計	1億4,000万円	2億 170万円	△ 6,170万円



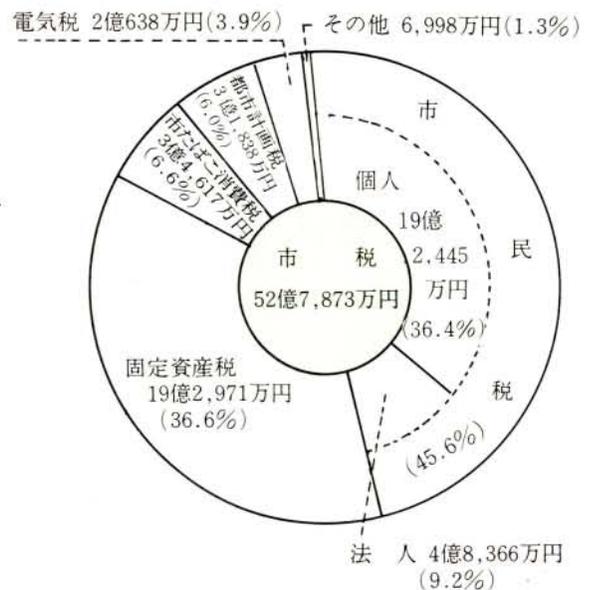
昭和63年度一般会計当初予算歳出の部を性質的に分析しますと左図のようになります。

昭和63年度一般会計当初予算  
性質別分析表

市民税負担状況  
(昭和63年度当初予算)



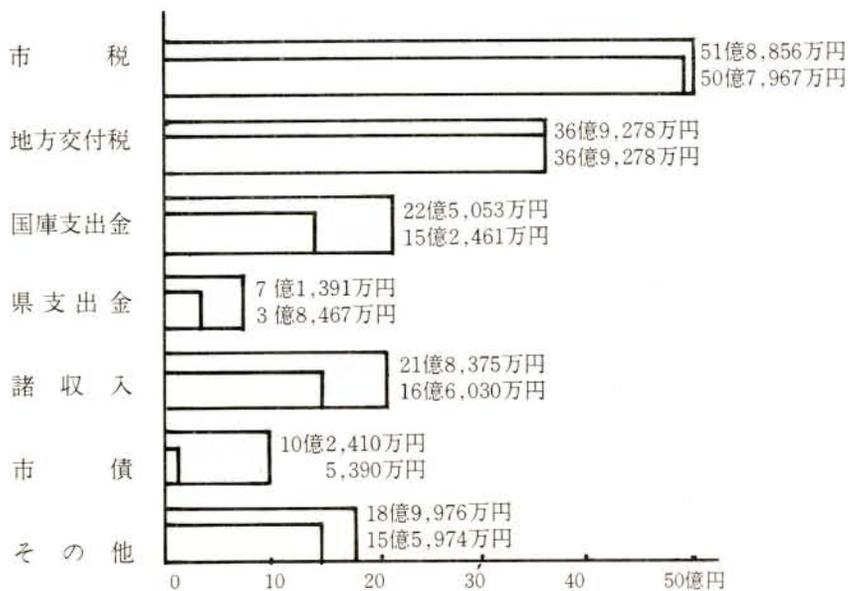
市税の内訳  
(昭和63年度当初予算)



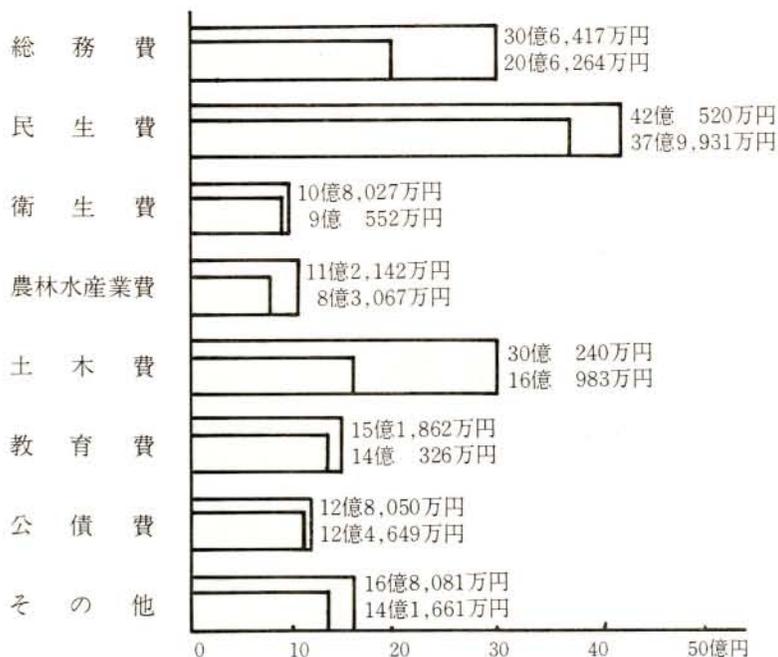
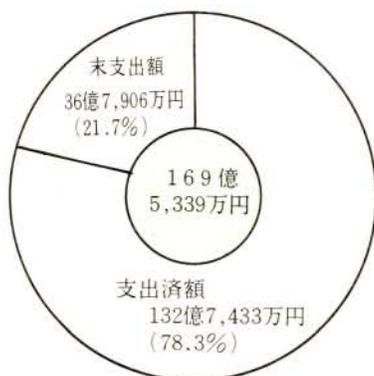
昭和62年度一般会計予算と執行状況 (昭和63年3月31日現在)

(上段：予算額)  
(下段：執行額)

歳入



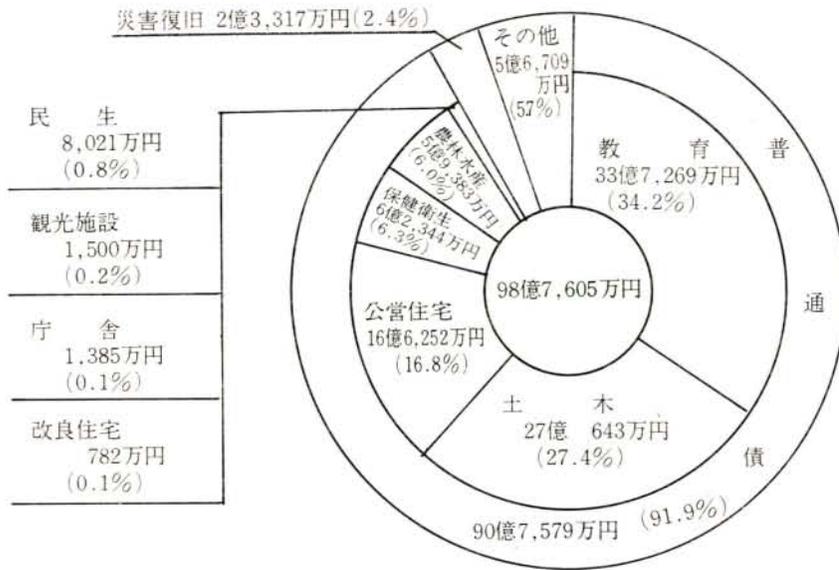
歳出



昭和62年度特別会計予算執行状況 (昭和63年3月31日現在)

会 計 名	予 算 額	収 入 済 額	執行率(%)	支 出 済 額	執行率(%)
簡 易 水 道 事 業	6億1,335万円	5,026万円	8.2	2億9,840万円	48.7
国民健康保険事業	39億5,884万円	28億2,462万円	71.3	33億1,133万円	83.6
老人保健事業	32億6,046万円	28億5,939万円	87.7	30億7,890万円	94.4
公共下水道事業	28億6,213万円	6億2,263万円	21.8	22億7,901万円	79.6
公共用地等先行取得事業	1億 750万円	0万円		1億 750万円	100.0

## 市 債 の 状 況 (昭和62年度末現在高)



## 一時借入金要領 (昭和63年3月31日)

借入年月日	借入額	借入先	利率(年利)	償還年月日
63. 3. 17	3億円	大村市モーターボート競走事業	0	63. 5. 31

## 業務状況等説明書

### 大村市告示第47号

地方公営企業法第40条の2第1項並びに大村市財政事情説明書の作成および公表に関する条例第2条および第3条の定めるところにより昭和62年度後期分(昭和62年10月1日~63年3月31日)の市立病院事業、市モーターボート競走事業、市水道事業、工業用水道事業の動向および財政事情を次のとおり公表します。

(1) **事業の概要**  
今日の医療に対する需要と関心は、高齢化の進行や医学の進歩による高度化・専門化に伴い、増大かつ多様化する傾向にあります。こうした中で、医療水準の向上と充実を図るため、アルゴンレーザ―光凝固装置外12機種を起債により購入しました。  
又、内科外来患者の増加に対応するため、従来は3室診療体制で



## 市有財産総括表 (昭和63年3月31日現在)

種別	数量	価 格
施設敷地	1,892,025m <sup>2</sup>	113億3,668万円
建 物	248,113m <sup>2</sup>	189億2,900万円
工 作 物	153件	11億8,604万円
山林・その他	6,110,892m <sup>2</sup>	27億9,568万円
基金・積立金	9件	26億6,648万円
出 資 金	26件	15億4,593万円
財 産 権	2,414m <sup>2</sup>	7万円
車 輛	119台	2,658万円
合 計		384億8,646万円

診療を行っていましたが、10月1日より4室診療体制へ移行しました。

(2) 経理の状況

昭和62年度の経理の状況は別表2のとおりですが、その概要は次のとおりです。

収益的収入	34億9,029万円
収益的支出	33億3,352万円
差引	1億5,667万円
資本的収入	1億2,967万円
資本的支出	1億2,967万円
差引	0万円

(3) 企業債及び一時借入金

並びに長期借入金現在高

企業債及び一時借入金並びに長期借入金の状況は、別表3・4・5のとおりです。又、支払利息については次のとおりです。

企業債利息	1億4,276万円
長期借入金利息	275万円
一時借入金利息	645万円

別表1 入院・外来患者数調べ (人)

	入院患者延人員	外来患者延人員
10月	8,051	11,205
11月	7,815	9,815
12月	7,550	10,405
1月	7,859	9,655
2月	7,753	10,915
3月	8,059	12,090
計	47,087	64,085
一日平均	257.3	438.9
前年度比	99.3	106.2

別表2 経理の状況

区 分	子 算 額	子 算 執 行 額	子 算 執 行 率 %
収益的収入	34億1,527万円	34億9,029万円	102.2
第1款 病院事業収益	34億1,527万円	34億9,029万円	102.2
第1項 医業収益	32億3,963万円	33億1,068万円	102.2
第2項 医業外収益	1億7,264万円	1億7,750万円	102.8
第3項 特別利益	300万円	211万円	70.3
収益的支出	34億91万円	33億3,352万円	98.0
第1款 病院事業費用	34億91万円	33億3,352万円	98.0
第1項 医業費用	32億2,223万円	31億7,313万円	98.5
第2項 医業外費用	1億7,168万円	1億5,197万円	88.5
第3項 特別損失	700万円	842万円	120.3
資本的収入	1億2,967万円	1億2,967万円	100.0
第1款 資本的収入	1億2,967万円	1億2,967万円	100.0
第1項 企業債	4,800万円	4,800万円	100.0
第2項 他会計負担金	8,167万円	8,167万円	100.0
第3項 固定資産売却代金	0万円	0万円	0.0
資本的支出	1億2,967万円	1億2,967万円	100.0
第1款 資本的支出	1億2,967万円	1億2,967万円	100.0
第1項 建設改良費	4,800万円	4,800万円	100.0
第2項 企業債償還金	8,167万円	8,167万円	100.0

別表3 企業債の状況

区 分	発行額	償還額	未償還残高	備 考
建設改良費	2,900万円	195万円	919万円	大 蔵 省
改築事業	23億280万円	4,939万円	21億385万円	大 蔵 省
医療器械整備	2億1,270万円	3,033万円	1億4,537万円	大 蔵 省
計	25億4,450万円	8,167万円	22億5,841万円	大 蔵 省

別表4 一時借入金明細書

前年度末残高	本年度中における借入残高最高額	63年3月末残高	備 考
3億8,000万円	3億8,000万円	6,029万円	借入先 親和銀行

別表5 長期借入金明細書

前年度末残高	本年度中における借入残高最高額	63年3月末残高	備 考
5億5,000万円	5億5,000万円	5億5,000万円	借入先 大村モーター ボート競走事業

(1) 事業の概要

昭和62年度は、長崎県、長崎市および大村市の共同開発として、蒼瀬ダム再開発工事を始めとする第9回拡張事業の推進に努めました。  
又、長崎市と蒼瀬ダム完成までの分水料金等に関する覚書の締結を致しました。

一方、一般事業におきましては、市内配水管台帳図の作成と80kmの漏水調査及び下水道工事等に伴う配水管の移設と共に修繕工事を実施して漏水防止と安定給水に努めました。

(2) 経理の状況

昭和62年度の経理の概要は次のとおりで、執行状況は別表1のとおりです。

収益的収入 10億3,636万円  
 収益的支出 11億2,195万円  
 差引 △8,559万円  
 資本的収入 4,289万円  
 資本的支出 2億3,298万円  
 差引 △1億9,009万円  
 上記の資本的収入の不足額1億9,009万円は、損益勘定留保資金で補てんしております。

(3) 企業債の概要

昭和62年度中に支払った企業債の

別表1 経理の状況

区 分	予 算 額			予算執行額	予算執行率 (%)	
	当初予算額	補正予算額	合計			
収益的収入	第1款 水道事業収益	10億4,722万円	△709万円	10億4,013万円	10億3,636万円	99.6
	第1項 営業収益	10億4,546万円	△731万円	10億3,815万円	10億2,934万円	99.2
	第2項 営業外収益	176万円	22万円	198万円	299万円	151.0
	第3項 特別利益				403万円	皆増
収益的支出	第1款 水道事業費用	11億5,899万円	△383万円	11億5,516万円	11億2,195万円	97.1
	第1項 営業費用	8億8,022万円	109万円	8億8,131万円	8億4,916万円	96.4
	第2項 営業外費用	2億7,700万円	△492万円	2億7,208万円	2億7,151万円	99.8
	第3項 特別損失	77万円		77万円	128万円	166.2
資本的収入	第4項 予備費	100万円		100万円		
	第1款 資本的収入	3,958万円		3,958万円	4,289万円	108.4
	第1項 企業債	1,680万円		1,680万円	1,680万円	100.0
	第2項 他会計負担金	190万円		190万円	189万円	99.5
	第3項 出資金	1,097万円		1,097万円	1,097万円	100.0
	第4項 補助金	991万円		991万円	991万円	100.0
	第5項 工事負担金				263万円	皆増
資本的支出	第6項 固定資産売却代金				69万円	皆増
	第7項 寄付金					
	第1款 資本的支出	2億5,818万円		2億5,818万円	2億3,298万円	90.2
	第1項 建設改良費	2億1,662万円		2億1,662万円	1億9,242万円	88.8
	第2項 企業債償還金	4,056万円		4,056万円	4,056万円	100.0
	第3項 予備費	100万円		100万円		

元利償還金は次のとおりで、企業債借入状況は別表3のとおりです。  
 企業債元金償還金 4056万円

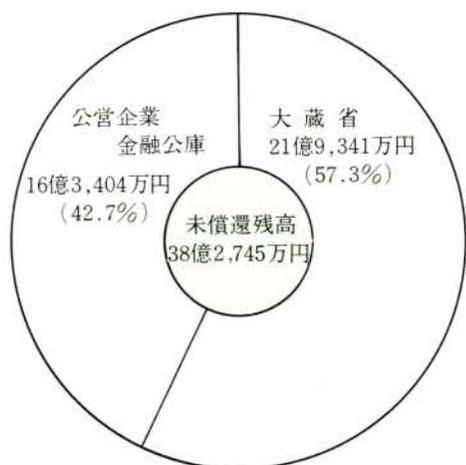
企業債利息 2億7151万円  
 合計 3億1207万円

別表2 業務の状況

事 項	昭和62年度(A)	昭和61年度(B)	比 較	
			増減(A) - (B)	比率(A) / (B)
1. 年度末給水人口	64,855人	64,035人	820人	101.3%
2. 年度末給水戸数	21,215戸	20,749戸	466戸	102.2%
3. 年間総配水量	7,397,565m <sup>3</sup>	7,276,362m <sup>3</sup>	121,203m <sup>3</sup>	101.7%
4. 一日最大配水量	26,401m <sup>3</sup>	26,009m <sup>3</sup>	392m <sup>3</sup>	101.5%
5. 一日平均配水量	20,212m <sup>3</sup>	19,935m <sup>3</sup>	277m <sup>3</sup>	101.4%
6. 一人一日平均配水量	312ℓ	311ℓ	1ℓ	100.3%
7. 年間有収水量	6,031,235m <sup>3</sup>	5,909,134m <sup>3</sup>	122,101m <sup>3</sup>	102.1%
8. 一日平均有収水量	16,479m <sup>3</sup>	16,189m <sup>3</sup>	290m <sup>3</sup>	101.8%
9. 一人一日平均有収水量	254ℓ	253ℓ	1ℓ	100.4%
10. 有収率	$\frac{(7)}{(3)} \times 100$	81.5%	81.2%	0.3%
11. 給水普及率	$\frac{(給水人口)}{(行政人口)} \times 100$	91.2%	91.2%	

別表3 企業債の状況

借入先	61年度末償還元金	62年度償還額	62年度借入額	62年度末償還元金
大蔵省	21億9,651万円	1,990万円	1,680万円	21億9,341万円
公庫	16億5,470万円	2,066万円		16億3,404万円
計	38億5,121万円	4,056万円	1,680万円	38億2,745万円



(1) 業務の概要  
 昭和62年度事業は、取水工事としてポンプ制御盤設置、導水工事として導水管路舗装復旧、送水工事として池田、坂口送水ポンプ場の築造及び送水管布設工事、配水工事として雄ヶ原配水池の場内整備を施工致しました。

工業用水道



2. 経理の状況

	区 分	予 算 額	予 算 執 行 額	予 算 執 行 率(%)
資 本 的 収 入	第1款 資本的収入	2億 170万円	1億9,500万円	96.7
	第1項 企 業 債	1億1,410万円	8,750万円	76.7
	第2項 補 助 金	8,750万円	1億 750万円	122.9
	第3項 他 会 計 補 助 金	10万円	0万円	0
資 本 的 支 出	第1款 資本的支出	2億 170万円	1億9,514万円	96.7
	第1項 建 設 改 良 費	2億 170万円	1億9,514万円	96.7

一時借入金明細書

前年度末残高	本年中における借入残高最高額	昭和63年3月31日末残高	備 考
7,000万円	1億3,200万円	0	借入先 大村市モーターボート競走事業会計

企業債の状況

借入先	発 行 額	償 還 額	未 償 還 額	残 高
大 蔵 省	1億3,040万円	0万円	1億3,040万円	1億3,040万円
公営企業金融公庫	2億2,380万円	0万円	2億2,380万円	2億2,380万円
計	3億5,420万円	0万円	3億5,420万円	3億5,420万円



(1) 事業の概要

昭和62年度は、ファン層の拡大をはかるため、近隣都市への街頭キャンペーン、シーズンに合わせた多種多様のイベント行事、他場特別発売の祭典等を実施しました。  
又、11月に全面機械化を実施し、ファンの利便を図りました。

売上額は1日平均1億4487万円の前年度に比べ11%増加していますが入場者は1日平均3623人で2.5%減少となっています。今後、更に催事等を積極的にを行い、ファン層の拡大に努めたいと考えております。昭和62年度後半の回別売上げは別表1のとおりです。

(2) 経理の状況

経理の状況は別表2のとおりで、その概要は次のとおりです。  
なお一般会計へは9億5000万円を繰出しています。

収益的収入 274億2,708万円  
収益的支出 260億6,065万円  
差引 13億6,643万円

資本的収入 0万円  
資本的支出 23億8,882万円  
差引 23億8,882万円

別表1 売上げ調べ

月 度 別	売 上 高	月 度 別	売 上 高	月 度 別	売 上 高
7回 (10月度)	19億3,887万円	9回 (12月度)	26億5,616万円	11回 (2月度)	21億2,105万円
8回 (11月度)	18億 378万円	10回 (1月度)	21億7,905万円	12回 (3月度)	21億5,019万円

別表2 経理の状況

昭和63年3月31日現在

区 分	子 算 額					合 計	予 算 執行額	予 算 執行率
	当 初 予算額	補 正 予算額	予 備 費 充 当 額	地方公営企業法第26条第1項の規定による繰越額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額			
収益的収入	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	(%)
第1款								
モーターボート競走事業収益	252億8,806	16億3,108	0	0	5億4,167	274億6,081	274億2,708	99.9
第1項 営業収益	251億2,649	16億3,108	0	0	5億4,167	272億9,924	272億2,343	99.7
第2項 営業外収益	1億6,157	0	0	0	0	1億6,157	2億 365	126.0
第3項 特別利益		0	0	0	0		0	0
収益的支出								
第1款								
モーターボート競走事業費用	244億2,274	14億5,783	0	0	3億9,703	262億7,760	260億6,065	99.2
第1項 営業費用	243億2,274	14億5,783	1億円	0	3億9,703	262億7,760	260億6,065	99.2
第2項 営業外費用		0	0	0	0	0	0	0
第3項 特別損失		0	0	0	0	0	0	0
第4項 予備費	1億円	0	△1億円	0	0	0	0	0
資本的収入								
第1款								
資本的収入		0	0	0	0		0	0
第1項 固定資産売却代金		0	0	0	0		0	0
資本的支出								
第1款								
資本的支出	23億 882	1億2,500	0	2,700	0	24億6,082	23億 268	86.5
第1項 建設改良費	13億 882	0	0	2,700	0	13億3,582	12億7,768	95.6
第2項 投資		7,500	0	0	0	7,500	7,500	100.0
第3項 貸付金	9億円	5,000	0	0	0	9億5,000	9億5,000	100.0
第4項 予備費	1億円	0	0	0	0	1億円	0	0

発行所／大村市役所

☎(代)53)4111

編集／広報公聴課

印刷所／九州凸版(株)

## お詫びと訂正について

昭和62年度大村市立病院事業 業務状況説明書の5ページの(2)経理の状況の収益的支出 33億3,352万円が 33億3,452万円に、差引 1億5,677万円が 1億5,577万円に、別表2 経理の状況の収益的支出 第1款 病院事業費用の予算執行額 33億3,352万円が 33億3,452万円に、同第1項 医業費用の予算執行額 31億7,313万円が 31億7,413万円に、それぞれ変更となりますのでお詫びして訂正します。